



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社  
コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 諸橋 友良

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員

(氏名) 櫻井 龍一

TEL 03-6870-6008

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	167,015	6.0	5,958	14.8	6,144	9.8	3,358	10.1
27年3月期第3四半期	157,620	5.3	5,190	△44.7	5,597	△42.6	3,051	△42.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,071百万円 (△10.4%) 27年3月期第3四半期 3,426百万円 (△29.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	74.38	74.12
27年3月期第3四半期	67.71	67.62

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	196,690	117,505	59.6	2,593.14
27年3月期	181,698	115,781	63.6	2,560.85

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 117,178百万円 27年3月期 115,489百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
28年3月期	—	17.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	231,203	9.7	9,437	66.9	9,729	51.2	4,360	109.2	96.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	47,911,023 株	27年3月期	47,911,023 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,723,120 株	27年3月期	2,812,854 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	45,150,773 株	27年3月期3Q	45,062,690 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）におけるわが国経済は、世界経済の下振れリスクなど不透明感がありつつも、政府の経済対策等の効果もあり、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

スポーツ用品販売業界におきましては、記録的暖冬の影響から各地スキー場の開業が遅れるなどウィンタースポーツマーケットは低迷しましたが、ラグビーワールドカップをはじめとした国際大会での日本代表チームの活躍を伝えるニュースなどを耳にする機会が多かったこともあり、スポーツへの関心は高く、引き続きフィットネス商品やパーソナルスポーツ関連商品を中心に、堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、ウィンタースポーツや防寒アイテムの販売は低調に推移いたしました。個店ごとの「地域一番店」づくりに向けた取り組みや、気候変動により瞬時に変化する顧客ニーズを的確に捉えられる店舗体制を構築いたしました。

コア事業である小売販売業におきましては、新規出店を日本国内では都市部を中心に継続的に行っております。日本国内におきましては、スーパースポーツゼビオ7店を含む44店の出店を行っております。閉店は、各業態合計13店実施しております。また既存店の改装においては、50店舗にて実施いたしました。なお海外では、スクラップ&ビルドを行いつつ、更なる店舗展開を進めております。

2015年10月1日に実施いたしました組織再編を機に、これまで以上にグループ各社間の連携を密に行う仕組みを構築いたしました。この連携を通じて、グループ各社間の協力体制が強固なものとなり、グループシナジーをこれまで以上に発揮することにより、各社が有する能力をさらに高めていく土壌が構築されてきております。

また、社外の有識者や役員の意見を得る機会を新たに創設したことで、ガバナンスやコンプライアンスに対する取り組みも、これまで以上に積極的なアクションに繋がってきております。

我々ゼビオグループは、その地域のオンリーワンの存在となる為に、地域MDの構築を引き続き推進してまいります。

そのためにも、これまで以上にコミュニケーションを密にし、地域の皆様に愛され、必要とされる店舗となるよう、スポーツを通じて、お客様のニーズに対して総合的に提案を行い、お客様とともに歩んでいくことができる「ライフスタイルカンパニー」を目指してまいります。

また、引き続き地域社会との関わりが深い各種スポーツ活動への参画を通じ、国内競技人口の増加と将来の顧客創出に取り組んでおります。

これらにより、当第3四半期連結累計期間末におけるグループの総店舗数は、709店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて6,197坪増加して186,993坪となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,670億15百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益59億58百万円（前年同期比14.8%増）、経常利益61億44百万円（前年同期比9.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益33億58百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

## 〔主な商品部門別の営業概況〕

## ＜ウィンター用品・用具部門＞

ウィンター用品・用具は、昨今のファミリー需要の高まりを受けつつも、記録的な暖冬の影響を大きく受ける結果となりました。

以上の結果、ウィンター用品・用具部門の売上高は、前年同期比16.7%の減少となりました。

## ＜ゴルフ用品・用具部門＞

ゴルフ用品・用具は、大型ブランドのモデルチェンジによる買い替え需要もあり、堅調に推移いたしました。ゴルフシューズでは高機能シューズの販売が好調だったことから、売り上げを伸ばしました。また新社会人など初めてゴルフを始める方に向けたプロモーションを強化し、新規顧客の獲得を強化いたしました。

以上の結果、ゴルフ用品・用具部門の売上高は、前年同期比7.6%の増加となりました。

## ＜一般競技スポーツ・シューズ部門＞

一般競技スポーツでは、新規客層獲得に注力した品揃え、キャンペーンを強化いたしました。さらに、世界大会での日本人選手の活躍がめざましいラケットスポーツでは、部活人口の増加を背景として高まる需要により、好調に推移いたしました。

以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比10.1%の増加となりました。

## ＜スポーツアパレル部門＞

スポーツアパレルでは、各専門競技部門へ分散する傾向がみられました。夏物商品など一部の商品において、タウンユース向けの提案も行ったこともあり、好調に推移した一方、防寒アイテムは低調に推移いたしました。

以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比0.6%の増加となりました。

## ＜アウトドア・その他部門＞

アウトドア・レジャー用品はファミリー層獲得に向けた品揃えを強化したことにより好調に推移いたしました。トレッキング用品では、登山ブームの一巡により登山用途としての購買活動は伸び悩みましたが、レジャー、タウ

ニューズ向け商品は堅調に推移いたしました。

フィットネス用品では、近年の健康ブームから、堅調に推移いたしました。

以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比3.1%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ149億92百万円増加し1,966億90百万円となりました。主な要因としては、棚卸資産や受取手形及び売掛金の増加などにより前連結会計年度末に比べ流動資産が153億67百万円増加し1,205億20百万円となったことによります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ132億67百万円増加し791億84百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が17億78百万円増加したことなどにより1,175億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,939	21,619
受取手形及び売掛金	16,616	21,369
有価証券	2,999	-
営業貸付金	2,034	1,968
商品	54,730	69,008
繰延税金資産	1,418	1,374
その他	6,929	5,627
貸倒引当金	△515	△446
流動資産合計	105,153	120,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,781	47,416
減価償却累計額	△26,661	△28,400
建物及び構築物(純額)	17,119	19,015
土地	15,389	15,416
リース資産	6,383	5,680
減価償却累計額	△2,331	△2,043
リース資産(純額)	4,052	3,637
建設仮勘定	194	955
その他	16,224	17,497
減価償却累計額	△12,317	△13,274
その他(純額)	3,907	4,222
有形固定資産合計	40,663	43,247
無形固定資産		
のれん	4,788	4,371
ソフトウェア	2,333	2,042
その他	1,111	1,210
無形固定資産合計	8,233	7,625
投資その他の資産		
投資有価証券	1,196	1,088
長期貸付金	254	159
繰延税金資産	1,642	1,513
差入保証金	4,481	4,307
敷金	13,611	13,948
投資不動産	8,177	4,615
減価償却累計額	△3,426	△2,149
投資不動産(純額)	4,751	2,465
退職給付に係る資産	544	649
その他	1,242	1,309
貸倒引当金	△75	△144
投資その他の資産合計	27,648	25,297
固定資産合計	76,545	76,169
資産合計	181,698	196,690

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,075	26,735
電子記録債務	21,184	28,573
短期借入金	767	539
未払法人税等	661	1,912
賞与引当金	1,019	452
役員賞与引当金	12	7
ポイント引当金	1,635	1,754
その他	10,875	10,800
流動負債合計	57,231	70,775
固定負債		
長期借入金	11	7
リース債務	3,697	3,283
繰延税金負債	112	110
退職給付に係る負債	577	588
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	3,644	3,850
その他	581	508
固定負債合計	8,685	8,408
負債合計	65,916	79,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,120	16,154
利益剰余金	87,384	89,163
自己株式	△5,010	△4,850
株主資本合計	114,430	116,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	322	293
繰延ヘッジ損益	-	2
為替換算調整勘定	777	504
退職給付に係る調整累計額	△41	△25
その他の包括利益累計額合計	1,058	775
新株予約権	291	317
非支配株主持分	0	9
純資産合計	115,781	117,505
負債純資産合計	181,698	196,690



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	157,620	167,015
売上原価	96,303	101,394
売上総利益	61,316	65,621
販売費及び一般管理費	56,126	59,662
営業利益	5,190	5,958
営業外収益		
受取利息	80	73
受取配当金	19	19
不動産賃貸料	621	654
業務受託料	-	284
その他	294	299
営業外収益合計	1,016	1,332
営業外費用		
支払利息	16	24
不動産賃貸費用	579	574
業務受託費用	-	294
その他	12	252
営業外費用合計	608	1,146
経常利益	5,597	6,144
特別利益		
投資有価証券売却益	-	70
特別利益合計	-	70
特別損失		
固定資産除却損	25	104
固定資産売却損	-	29
減損損失	658	19
その他	522	8
特別損失合計	1,206	162
税金等調整前四半期純利益	4,390	6,052
法人税、住民税及び事業税	1,885	2,520
法人税等調整額	△386	176
法人税等合計	1,498	2,697
四半期純利益	2,892	3,355
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△159	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,051	3,358

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,892	3,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△28
繰延ヘッジ損益	74	2
為替換算調整勘定	424	△273
退職給付に係る調整額	1	15
その他の包括利益合計	534	△283
四半期包括利益	3,426	3,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,585	3,075
非支配株主に係る四半期包括利益	△159	△3

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。